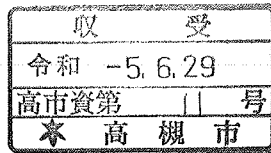


産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 23日

高槻市長



提出者

住 所 高槻市上田辺町18番1号

氏 名 大昭工業(株)代表取締役 岸兵太

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

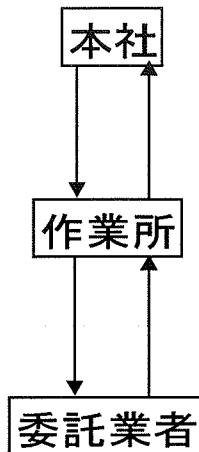
電話番号 072-682-6883

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大昭工業株式会社
事業場の所在地	高槻市上田辺町18番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完工高225,000万円
③従業員数	80人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	その他廃プラスチック→再生リサイクル業者委託 ・建設工事の木くず→再生リサイクル業者委託 ・その他金属くず→再生リサイクル業者委託 ・その他がれき類→再生リサイクル業者委託 ・コンクリート破片→再生リサイクル業者委託 ・アスコン破片→再生リサイクル業者委託 ・管理型建設系混合廃棄物→中間処理業者委託→(最終処分) ・石腸含有建設系混合廃棄物→中間処理業者委託→(最終処分)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	管理型建設系混合廃棄物
	排出量	779.42 t	158.03 t
	(これまでに実施した取組) 再生可能な物品は分別する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	管理型建設系混合廃棄物
	排出量	500 t	80 t
	(今後実施する予定の取組) 再生可能な物品は分別する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・廃ダンボールは分別し保管する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

汚泥	その他がれき	アスコン破片	建設工事の木くず
204.5 t	82.99 t	17.5 t	13.1 t

②計画

汚泥	その他がれき	アスコン破片	建設工事の木くず
150 t	50 t	10 t	8 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

その他ガラスくず	廃石膏ボード	その他廃プラスチック	石綿含有建設混合廃棄物
5.8 t	4 t	0.35 t	0.5 t

②計画

その他ガラスくず	廃石膏ボード	その他廃プラスチック	石綿含有建設混合廃棄物
3 t	2 t	0.2 t	0.3 t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  実施予定なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)  実施予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定なし			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	t
	(これまでに実施した取組)		
特になし			



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	管理型建設系混合廃棄物
	全処理委託量	500 t	80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	80 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
特になし			
※事務処理欄			

②計画

汚泥	その他がれき	アスコン破片	建設工事の木くず
150 t	50 t	10 t	8 t
t	t	t	t
150 t	50 t	10 t	8 t
t	t	t	t
t	t	t	t

## ②計画

その他ガラスくず	廃石膏ボード	その他廃プラスチック	石綿含有建設混合廃棄物
3 t	2 t	0.2 t	0.3 t
t	t	t	t
3 t	2 t	0.2 t	0.5 t
t	t	t	t
t	t	t	t

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 22日

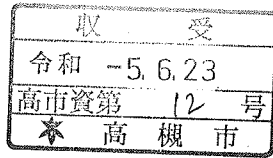
（宛先）高槻市長

提出者

住 所 大阪市中央区南船場一丁目14番

10号

司



氏 名 大成建設株式会社 関西支店  
専務執行役員支店長 加賀田 健

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6265-4610

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社 関西支店
--------	---------------

事業場の所在地	大阪市中央区南船場一丁目14番10号
---------	--------------------

計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
------	--------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
--------	----------

②事業の規模	1,461億円
--------	---------

③従業員数	1,041人
-------	--------

④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり
-----------------	---------------

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別添2 管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	排出量	868.3 t	280.6 t
	(これまでに実施した取組) ・PC工法の採用 ・梱包材の簡素化 ・余剰材の引き取り ・ユニット化持込 ・廃棄物の圧縮		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	排出量	500 t	100 t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して実施する		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥・がれき類(コンクリート塊、アスファルト塊、その他がれき類)・金属くず・ 廃プラスチック類・木くず・紙くず・ガラス陶磁器くず(石膏ボード、その他)・
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・継続して実施する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出

①現状

①現状

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥	⑦紙くず
88 t	84.5 t	12 t	4 t	9 t

②計画

②計画

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥	⑦紙くず
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t



の抑制に関する事項

⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑩水銀使用産廃(蛍光灯)	⑪混廃(管理型含む)	⑫石綿含有産廃(がれき類)
453 t	188 t	0.5 t	1153.5 t	35.5 t

⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑩水銀使用産廃(蛍光灯)	⑪混廃(管理型含む)	⑫石綿含有産廃(がれき類)
200 t	100 t	0 t	500 t	0 t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定はないが、がれき類(コンクリート塊)が発生すれば、場内に 移動式の破砕機を設置し、40mmアンダーに破砕し再生砕石等に 利用する方法を検討する		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄

①現状

①現状

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥	⑦紙くず
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

②計画

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥	⑦紙くず
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄

①現状

①現状

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥	⑦紙くず
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

②計画

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥	⑦紙くず
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 物の再生利用に関する事項

⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑭水銀使用産廃(蛍光灯)	⑮混廃(管理型含む)	⑯石棉含有産廃(がれき類)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑭水銀使用産廃(蛍光灯)	⑮混廃(管理型含む)	⑯石棉含有産廃(がれき類)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 物の中間処理に関する事項

⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑭水銀使用産廃(蛍光灯)	⑮混廃(管理型含む)	⑯石棉含有産廃(がれき類)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑭水銀使用産廃(蛍光灯)	⑮混廃(管理型含む)	⑯石棉含有産廃(がれき類)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
	全処理委託量	868.3 t	280.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	739.5 t	34 t
	再生利用業者への処理委託量	868.3 t	280.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面に よる契約を実施している ・再資源化率の高い事業者を選定している		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥
88 t	84.5 t	12 t	4 t
88 t	84.5 t	12 t	4 t
0 t	0 t	0 t	4 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑦紙くず	⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑩水銀使用産廃(蛍光灯)	⑪混廃(管理型含む)	⑫石綿含有産廃(びんきり)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦紙くず	⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑩水銀使用産廃(蛍光灯)	⑪混廃(管理型含む)	⑫石綿含有産廃(びんきり)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑦紙くず	⑧木くず	⑨廃石膏ボード	⑩水銀使用産廃(蛍光灯)	⑪混廃(管理型含む)	⑫石綿含有産廃(びんきり)
9 t	453 t	188 t	0.5 t	1153.5 t	35.5 t
9 t	443 t	188 t	0.5 t	1153.5 t	0 t
9 t	443 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	①コンクリートがら	②アスファルト・コンクリートがら
②計画	全処理委託量		500 t	100 t
	優良認定処理業者への処理委託量		500 t	100 t
	再生利用業者への処理委託量		500 t	100 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
			(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する ・電子マニフェストの推進を図るため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定し、未導入の業者であれば導入の依頼をする ・再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する ・委託処理業者については、定期的に現地確認を実施する	
※事務処理欄				



②計画

③その他がれき類	④廃プラスチック類	⑤ガラスくず及び陶磁器くず	⑥汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦紙くず	⑧木くず	⑨廃石膏ボード	資本銀使用産廃(蛍光灯)	翁混廃(管理型含む)	珪石綿含有産廃(おむき類)
0 t	200 t	100 t	0 t	500 t	0 t
0 t	200 t	100 t	0 t	500 t	0 t
0 t	200 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 別添1 処理工程図

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

### 産業廃棄物の一連の処理の工程

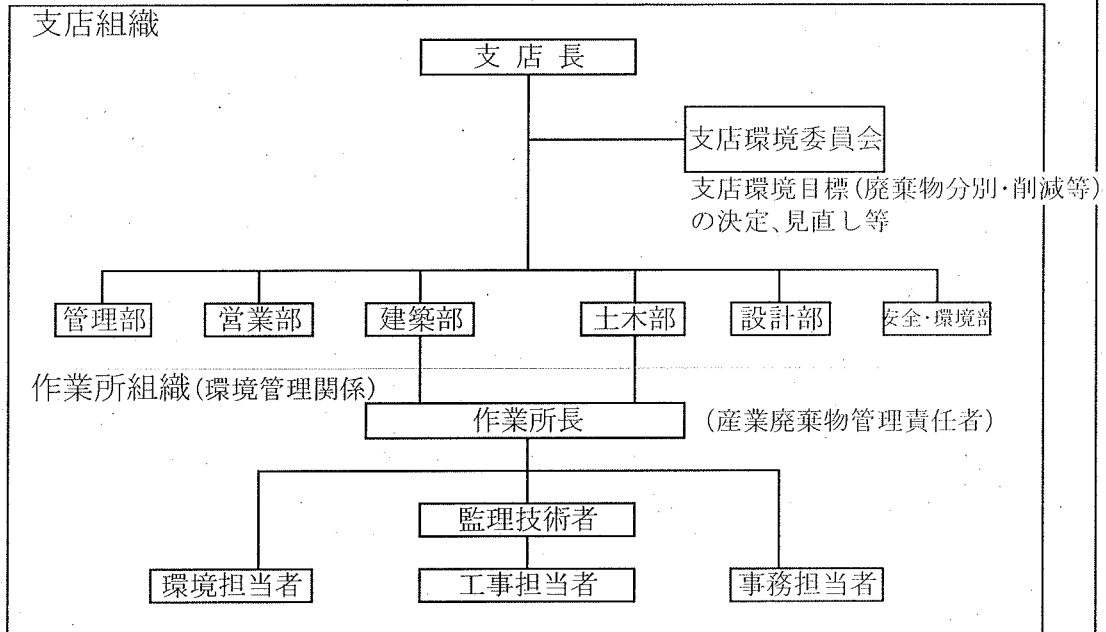
汚泥	再生処理業者に委託して、再生砕石・再生路盤材として再資源化及び中間処理後セメント会社に委託
廃プラスチック	再生処理業者に委託して、RPF原料として再資源化
紙くず	再生処理業者に委託して、再生紙として再資源化
木くず	再生処理業者に委託して、チップ(合板用・燃料用)として再資源化
金属くず	再生処理業者に委託して、中間処理後、製鋼原料として売却
ガラスくず及び 陶磁器くず	再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化
廃石膏ボード	再生処理業者に委託して、地盤改良材及び石膏ボード原料として再資源化
がれき類 アスコンがら	再生処理業者に委託して、再生砕石及び路盤材として再資源化
がれき類 コンがら	再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化
その他のがれき類	再生処理業者に委託して、再生路盤材として再資源化

## 別添2 管理体制図

### 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 管理体制図

統括責任者		支店長
支店	担当部署 (指導)	安全・環境部 安全・環境管理室
		建築部 安全・環境推進室
		土木部 安全・環境推進室
作業所	責任者	作業所長
	担当者	作業所長が指名

### 管理体制図





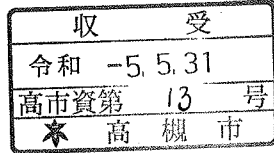


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 19日

高槻市長 殿



提出者

住 所 大阪市福島区吉野4丁目22番9号

氏 名 太陽エコブロックス株式会社

代表取締役社長 石井 克侑

電話番号 06-6466-6751

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	太陽エコブロックス株式会社 高槻工場
事業場の所在地	高槻市唐崎南2丁目8番1号
計画期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	コンクリートブロック製造
② 事業の規模	年間製造数 438万個
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	太陽エコブロックス(株)→外部委託運搬→外部処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
工場長	削減推進責任者・・・計画、立案	
製造課長	削減推進者・・・削減実施、指示	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ 木くず
	排出量	3,960 t 52 t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ 木くず
	排出量	3,700 t 40 t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	なし	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	なし	



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
	全処理委託量	3,960 t	52 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
1. コンクリートブロック不良率削減 2. 片面スプリットブロックの開発によるコンクリートガラ削減 3. フォークリフト用バンパーによる木パレット破損対策 4. スプリットヘタの商品開発			

		<b>【目標】</b>		
		産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
		全処理委託量	3,700 t	40 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンクリートブロックの不良率削減</li> <li>2. 片面スプリットブロックの拡販によるガラ削減</li> <li>3. 開発した新製品を拡販することでスプリットのヘタの発生抑制。</li> <li>4. 木パレットの形状変更による破損防止</li> <li>5. 木パレット修理により廃棄を減らす</li> </ol>		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

（宛先）高槻市長

収	受
令和	-5. 6. 30
高市資第	14 号
★	高槻市

提出者

住 所 大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル  
大日本土木株式会社 西日本支社  
氏 名 執行役員支社長 小椋 克泰

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6632-7099

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大日本土木株式会社大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06総合工事業
②事業の規模	完工高 207 億円（西日本支社管内）
③従業員数	243名（西日本支社管内）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙2の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】※集計用シート参照		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・材料の工場加工等により廃材発生の削減、搬入資機材・梱包材の減容化・減量化を図った。 ・作業所が定めた減量化方法を周知させ、また、具体的な実施内容や注意事項を朝礼広場、工事関係者の集合場所に掲示した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ”①現状”で実施した項目をさらに推し進める		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・金属くず、段ボール、木くず等、再生利用可能なものについては、取引業者・搬出先の有無を調査の上、有価物と廃棄物に分別して排出を行った
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ”①現状”で実施した項目をさらに推し進める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

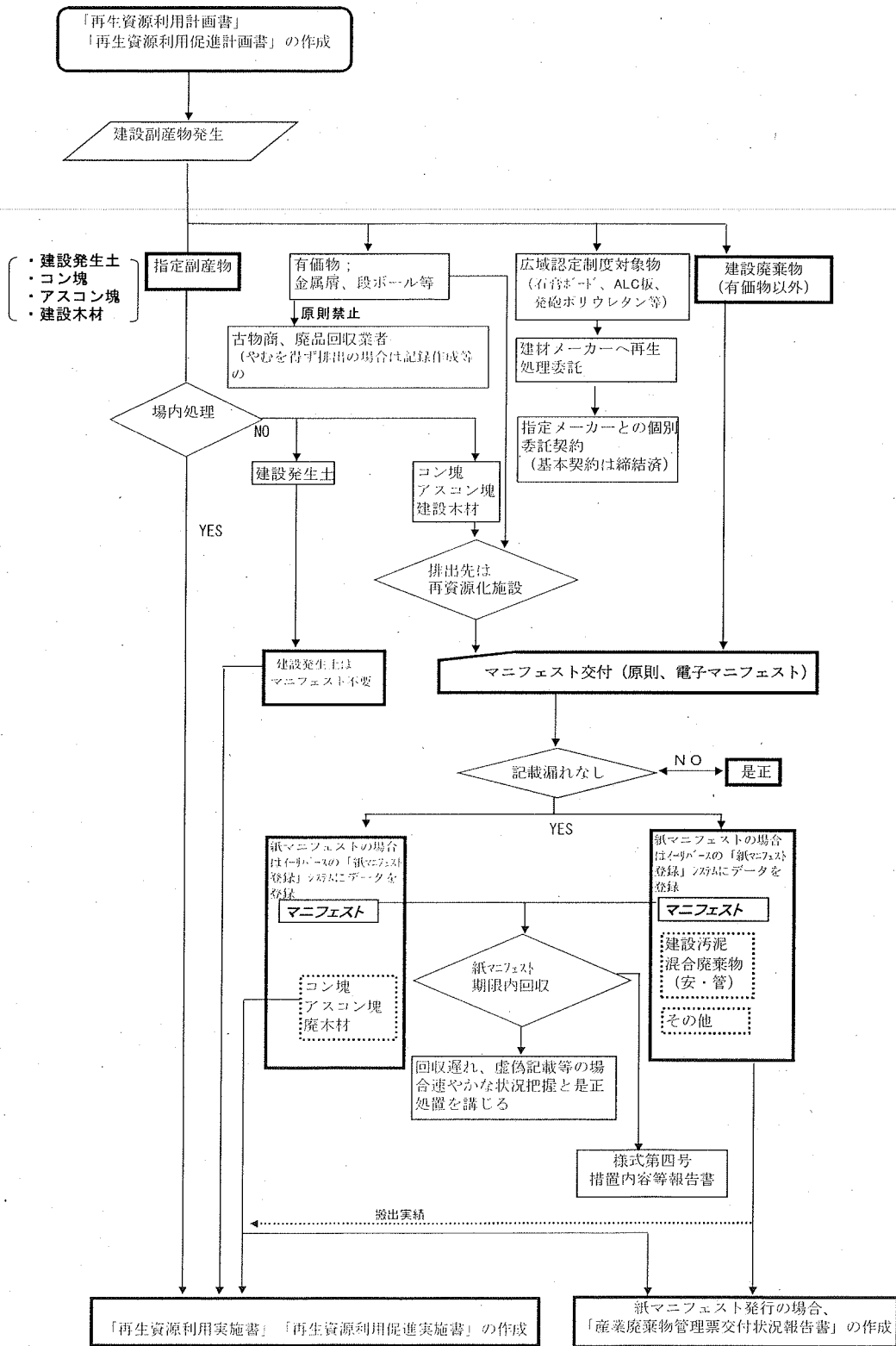
①現状	【前年度（                      年度）実績】 ※集計シート参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェスト化を進め、煩雑な事務処理作業を低減した ・産業廃棄物収集運搬業者・処理業者に対して、JWNET・ereverse への加入を奨励した ・作業所に対して、業者選定の際には優良認定処理業者と優先的 に委託契約を結ぶように推奨した		



		【目標】※集計シート参照	
		産業廃棄物の種類	
		全処理委託量	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t
		再生利用業者への処理委託量	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
②計画	(今後実施する予定の取組) ”①現状”で実施した項目をさらに推し進める		
※事務処理欄			

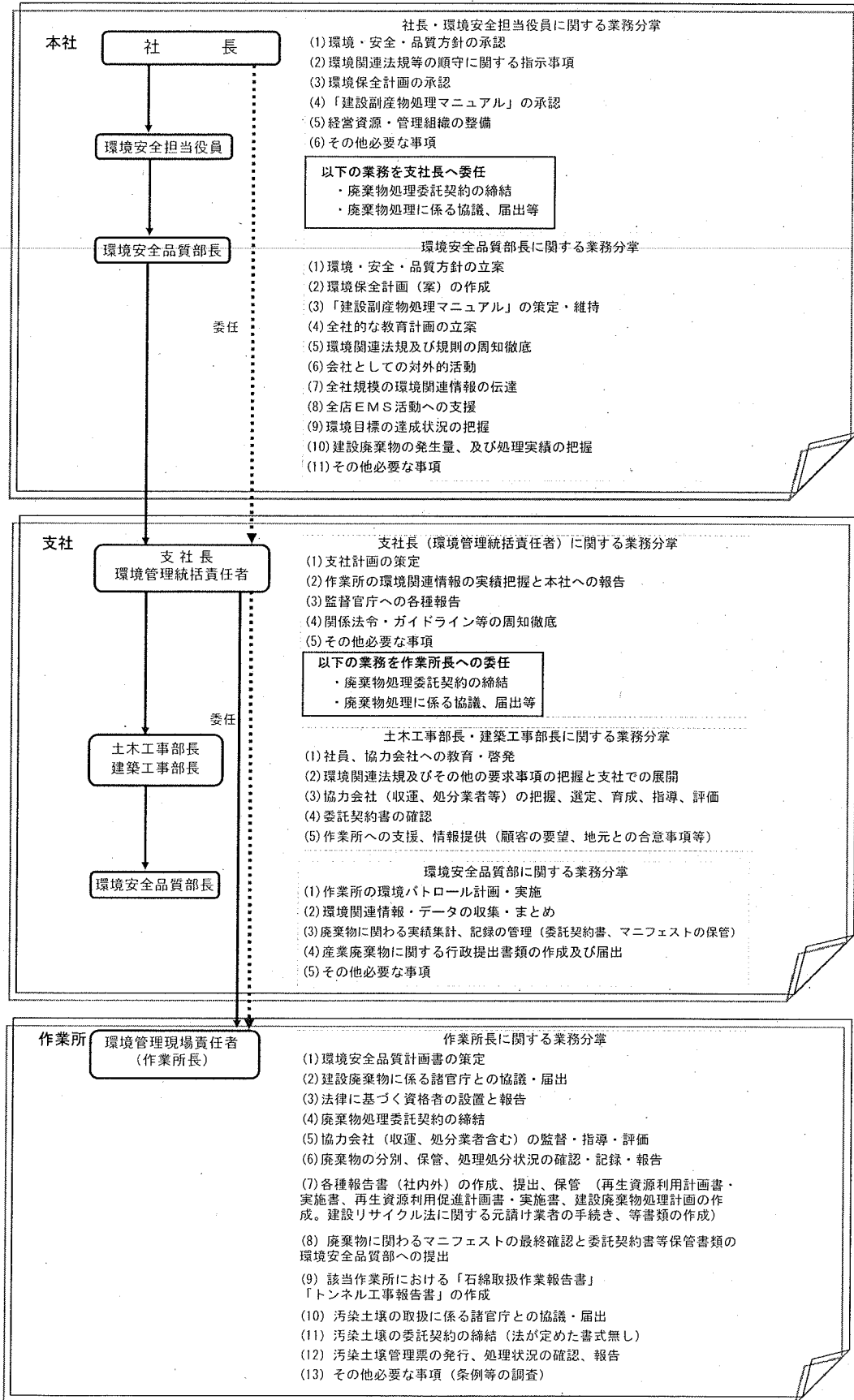
## 2. 作業所における環境管理

### (1) 建設副産物排出管理フロー



I. 実務編

1. 全社的な環境管理

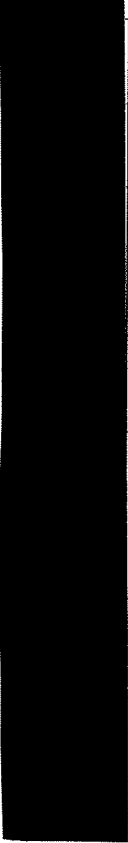


前 年 度 【 令 和 4 年 度 】 実 績

事業支拂物の名称	社 会 共 同 体										21年 決算 繰上 入金 未 入金 額	22年 決算 繰上 入金 未 入金 額
	1 法人 等 の 支 拂 物	2 法人 等 の 支 拂 物	3 法人 等 の 支 拂 物	4 法人 等 の 支 拂 物	5 法人 等 の 支 拂 物	6 法人 等 の 支 拂 物	7 法人 等 の 支 拂 物	8 法人 等 の 支 拂 物	9 法人 等 の 支 拂 物	10 法人 等 の 支 拂 物		
1 201 建設汚泥	1,077									1,077		
2 500 がれき処理	15									15		
3 1301 コンクリート	225									225		
4 1302 アスファルト	31									31		
5 2000 管理費混雑	16									16		
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20 合計	1,367	0	0	0	0	0	0	0	0	1,367	1,348	18

(注)1)トクホ等関係として四捨五入、ただし、数字が増減が外れ係以下3桁まで記載は可。

今年度【令和5年度】目標



事業等の名称	事業の状況										2024年度 達成率(%)	2025年度 達成率(%)	
	1. 計画 進捗状況	2. 計画 進捗状況	3. 計画 進捗状況	4. 計画 進捗状況	5. 計画 進捗状況	6. 計画 進捗状況	7. 計画 進捗状況	8. 計画 進捗状況	9. 計画 進捗状況	10. 計画 進捗状況			
1 221 建設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 1500 がけきり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 1501 コンガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 1502 アスガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 2000 管理型運保	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(注)1) 事業は原則として四捨五入、ただし、数字が零未満であれば小数点以下5桁まで記載する。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月15日

（宛先）高槻市長

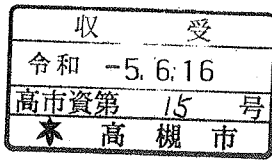
提出者

住 所 大阪市北区梅田3丁目3番5号

氏 名 大和ハウス工業株式会社 本店  
常務執行役員本店長 能村盛隆

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6342-1240



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 本店 高槻市管轄内事業場
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	工事完成高 99,724百万
③従業員数	全従業員 1,185名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体工事 がれき類（コンクリート塊、アスコン塊）、木くず→再生処理業者に委託して、再生砕石、チップ（合材用、燃料用）として再資源化</li> <li>・新築工事（住宅系当社商品） 現場にて建設産廃を19品目に分別し当社奈良工場に一括して集め品目別に再生処理業者に委託し再資源化</li> <li>・新築工事（一般建築） 現場にて建設産廃を分別しリサイクル可能な品目については再生処理業者に委託して再資源化</li> </ul>

（日本産業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙通り (別表1、別表2)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	443 t	131.943 t
	(これまでに実施した取組) ・住宅系に於ける当社商品の工業化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	398.7 t	118.7487 t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取組に加え、店舗建築に於ける当社商品の採用 ・石膏ボードのプレカット化		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・住宅系新築工事では19品目に分別 ・建築系新築工事では7品目に分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記の分別を継続

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑

①現状

①現状

紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
2.37 t	169.414 t	0.63 t	7.31 t

②計画

②計画

紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
2.133 t	152.4726 t	0.567 t	6.579 t



0制に関する事項

ガラスくず、コンクリートくず及び	がれき類	管理型建設系混合廃
163.5 t	4866.22 t	37 t

5821.387

ガラスくず、コンクリートくず及び	がれき類	管理型建設系混合廃
147.15 t	4379.598 t	33.3 t

5239.248

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	443 t	131.94 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	30.68 t
	再生利用業者への処理委託量	443 t	2.44 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	129.51 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・毎年、安全部同行で委託先処理業者の現地審査を実施している。		

(第4面) -2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 自ら行う産業廃棄物の

①現状

①現状

t	t	t	t

②計画

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委

①現状

①現状

紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
2.37 t	169.414 t	0.63 t	7.31 t
0.53 t	28.814 t	0.06 t	1.31 t
2.37 t	169.414 t	0.63 t	7.31 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

t	t	t

t	t	t

委託に関する事項

ガラスくず、コンクリートくず及び	がれき類	管理型建設系混合廃棄物	
163.50 t	4866.22 t	37 t	5821.387
10.55 t	4358.26 t	25.00 t	4455.207
158.00 t	4858.22 t	12.00 t	5653.379
0 t	0 t	0 t	129.508
0 t	0 t	0 t	0

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		398.7 t	118.75 t
	優良認定処理業者への処理委託量		0 t	27.61 t
	再生利用業者への処理委託量		398.7 t	2.19 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t	116.56 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り優良認定処理業者を選定する。</li> <li>・委託処理業者への現地審査は継続する。</li> </ul>			
※事務処理欄				



②計画

②計画

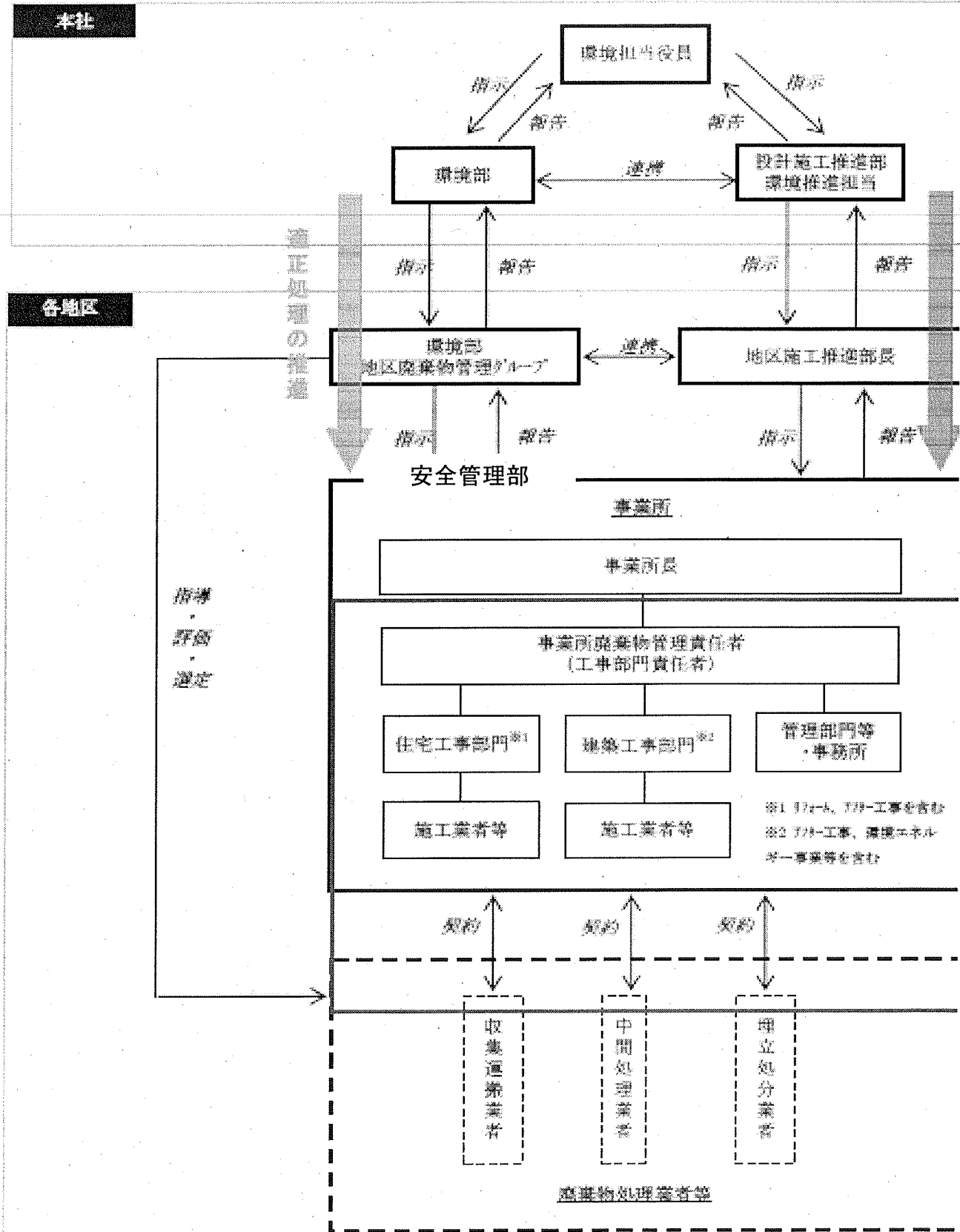
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
2.13 t	152.47 t	0.57 t	6.58 t
0.48 t	25.93 t	0.05 t	1.18 t
2.13 t	152.47 t	0.57 t	6.58 t
0.00 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず、コン クリートくず及び	がれき類	管理型建設系混合廃	
147.15 t	4379.60 t	33.3 t	5239.248
9.50 t	3922.43 t	22.5 t	4009.686
142.20 t	4372.40 t	10.8 t	5088.041
0 t	0 t	0 t	116.5572
0 t	0 t	0 t	0

廃棄物処理に関する管理体制

区分	部門	主な職務
事業所	事業所長	<p>【適正処理の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遵法性の確認</li> <li>・ 事業所廃棄物管理責任者の任命</li> <li>・ 委託基本契約書の締結</li> </ul>
	事業所廃棄物管理責任者 (工事部門責任者)	<p>【適正処理の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物処理業者等の現地審査</li> <li>・ 事業所廃棄物処理系統図の作成</li> <li>・ 委託基本契約書の作成</li> <li>・ 現場指導(分別、保管管理等)</li> <li>・ 事業所廃棄物管理状況の確認</li> <li>・ 行政対応(報告書類の作成等)</li> </ul> <p>【3Rの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善施策の実施</li> </ul>
	住宅工事部門・建築工事部門	<p>【適正処理の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニフェスト運用管理</li> <li>・ eいシステム運用管理</li> <li>・ 現場指導(分別、保管管理等)</li> </ul> <p>【3Rの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善施策の実施</li> </ul>

# 廃棄物管理組織図



前 年 度 【2022 年 度】 実 績

事業年度の種別 コード	社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		社 会 的 貢 献		
	1. 社会貢献活動 の推進状況	2. 社会貢献活動 の推進状況	3. 社会貢献活動 の推進状況	4. 社会貢献活動 の推進状況	5. 社会貢献活動 の推進状況	6. 社会貢献活動 の推進状況	7. 社会貢献活動 の推進状況	8. 社会貢献活動 の推進状況	9. 社会貢献活動 の推進状況	10. 社会貢献活動 の推進状況	11. 社会貢献活動 の推進状況	12. 社会貢献活動 の推進状況	13. 社会貢献活動 の推進状況	14. 社会貢献活動 の推進状況	15. 社会貢献活動 の推進状況	16. 社会貢献活動 の推進状況	17. 社会貢献活動 の推進状況	18. 社会貢献活動 の推進状況	19. 社会貢献活動 の推進状況	20. 社会貢献活動 の推進状況	21. 社会貢献活動 の推進状況	22. 社会貢献活動 の推進状況	
1	200	443																					
2	600	原プラスチック類																					
3	700	紙くず																					
4	800	木くず																					
5	900	繊維くず																					
6	1200	金属くず																					
7	1300	ガラスくず等																					
8	1900	がれき類																					
9	2020	管理製造系廃棄物																					
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
	合計	5,921	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)トン単位の単位にして四捨五入、ただし数字が等価であれば小数点以下第3位まで記載可。

